

三郷町では令和4年度から小中一貫コミュニティ・スクールを導入し、学校と地域の人々（保護者・地域住民）が目標を共有し、ともに知恵を出し合い協働しながら、一体となって地域の子どもたちを育てていくことで、義務教育9年間の子どもの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めています。

この事業は、奈良県学校・地域パートナーシップ事業を活用して取り組んでいます。令和5年度に重点的に取り組んだ課題に応じた目標と評価・分析については以下の通りです。

◆令和5年度に学校・地域パートナーシップ事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	②学校と地域の課題
課題の類型2	学校支援ボランティアの確保・育成
課題の詳細	高齢化が進みボランティア活動等に参加できない方が増えたことに伴い今後人員不足が懸念される。
左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	活動内容の周知等により新規参加者を募る。 また、活動内容の簡略化を図り、一部の参加者に負担が過重にならないように検討する。
本事業で達成する目標（アウトカム）	新規ボランティア登録者の獲得
目標の達成度を測る指標	ボランティア登録者数
現状の数値	280人
本年度の目標値	290人
本年度の実績値	313人
アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの登録者数は、目標値を超えることができた。 ・自治会を通じた見守りボランティアへの登録が多数を占めた。広報やFacebookで活動の周知を図った。周知という意味では一定の効果があると考えられるが、ボランティア登録への効果は確かではない。 ・登録へ繋がる新たな仕掛け（イベント、電子申請等について、検討する。 ・活動内容の簡略化に向けては、学校・学生支援ボランティアとの共有等現状把握が必要な段階である。 ・活動内容の認識を共有やボランティア項目の見直しも併せて取り組みたい。

◆学校支援ボランティアの様子（活動の一部）



子どもたちが楽しみにしている体験活動の様子です。
ボランティアさんからは、活動に参加し子どもたちとの交流は「元気がでる」「活動を続けたい」とのお声をいただいています。